

海外留学について

宮城教育大学では、中国・韓国・台湾・オーストラリア・スウェーデン・アメリカの大学と国際交流協定を締結し、毎年海外派遣を行っています。

学生時代に海外で学ぶという体験は、あなたの人生にとって大きなプラスになるに違いありません。それは単に留学先の国・大学で得られる知識や語学力だけでなく、世界中から集まる様々な文化的背景を持つ留学生たちと一緒に過ごす時間が、日本国内にいたるだけでは得られない貴重な経験となるからです。そして、異文化の理解にとどまらず、日本や自分自身を見つめなおし、自分の将来を考える良い機会にもなるでしょう。

もちろん、留学は海外旅行のように楽しいことばかりではありません。とくに長期留学では、留学前の準備、異国で学業と生活を両立させていく胆力、あうんの呼吸で通じる日本人以外の様々な人たちとの円滑なコミュニケーションなど、これまで経験したことのない、様々な試練が待ち受けています。しかし、留学を終えて帰国したみなさんのレポートには、一まわりも二まわりも人間的に成長している姿が描かれています。

皆さんもご存じのとおり、現代日本社会は多くの外国人を受け入れており、

過去 10 年間で外国人労働者数は 70 万人から 170 万人以上に激増していると言われていています。それに伴って外国人児童も増加していく傾向にあり、教育環境を整備することは国の喫緊の課題となっています。

今後、日本が在留外国人と共生の道を進んでいくためにも、豊かな国際経験を有する教員が、自らの経験を生かしたグローバル教育を展開できることは、日本の未来にとって大変有意義なものだと考えます。

宮城教育大学には、海外留学の経験を生かして第一線で活躍している先輩がたくさんいます。この機会を生かして、海外に留学することも大学生活の選択肢の一つとして考えてみてはいかがでしょうか。

